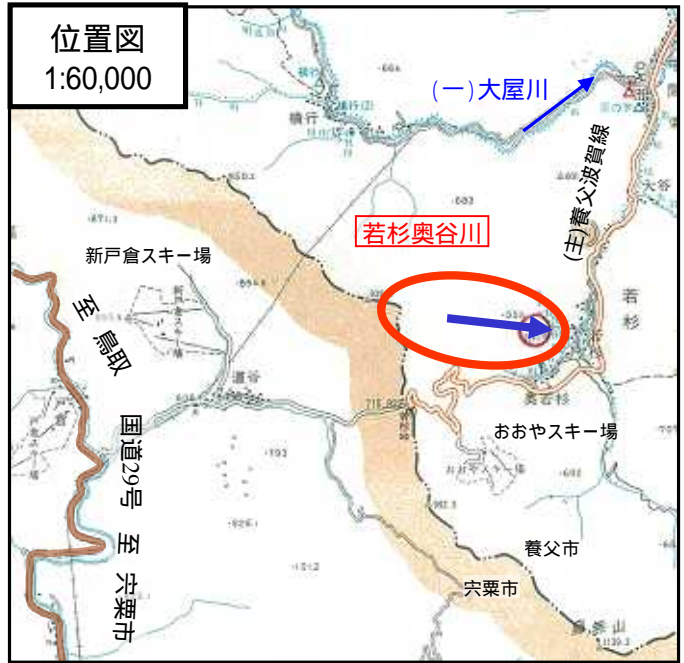


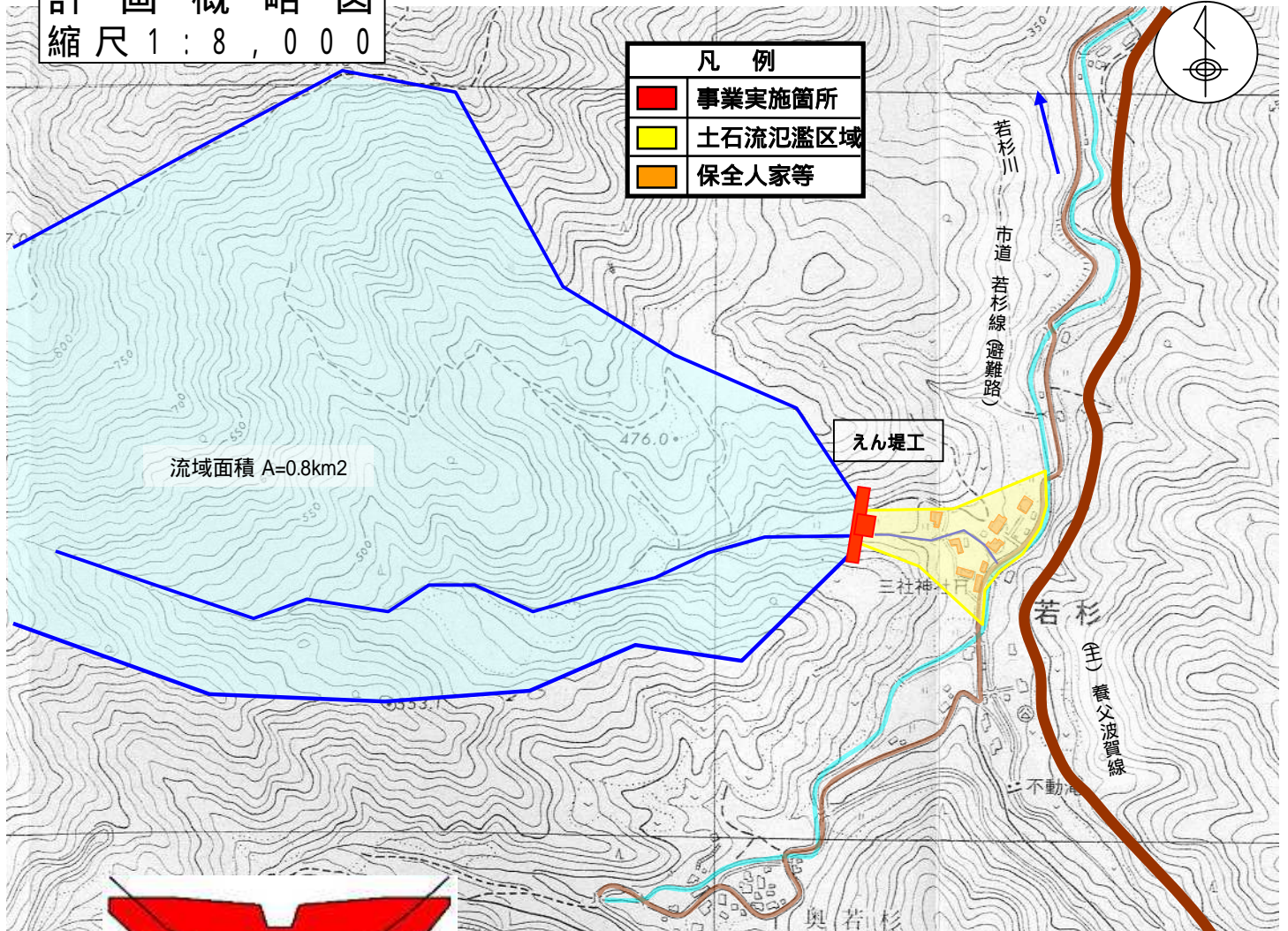
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		通常砂防事業 わかすおくたに 若杉奥谷川	養父市大屋町 わかす 若杉	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
養父市大屋町若杉				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H=8.0m, L=80.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系若杉川に流入する土石流危険溪流 ・平成16年台風23号により溪岸の土砂が流出しており、未だ流域には転石(0.5~1.0m)が多数存在しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約2ha(長さ200m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家7戸、市道(避難路:約220m)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・地元要望が強く、周辺道路の工事利用に理解を得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・近年に土砂が流出しており、次期降雨等によるさらなる土砂流出のおそれが高いことから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

わかすおくたにがわ
若杉奥谷川
[養父市]



計画概略図
縮尺 1 : 8,000



えん堤工 H = 8.0m、L = 80.0m